

2022

令和4年度



やまぐち

未来維新プラン

より高いレベルの安心と成長の実現を目指して



2026

令和8年度

令和4年(2022年)12月

山口県の「新たな未来」に向けて

山口県が目指す県づくりの方向性を、市町、関係団体、企業・大学等、そして県民の皆様と共有し、共に取り組んでいくため、新たな県政運営の指針となる「やまぐち未来維新プラン」を策定しました。

人口減少の進行をはじめ、新型コロナウイルスの感染拡大、デジタル化や脱炭素化等の社会変革、ウクライナ情勢を発端とした物価高騰、自然災害の頻発化・激甚化など、私たちを取り巻く環境は大きく、急速に変化しています。

このような中であって、まずは、コロナから県民の皆様の命と健康を守り抜き、傷んだ社会経済を再生するとともに、様々な社会変革の先にある本県の「新たな未来」を見据えて、県づくりを力強く前へ進めていかなければなりません。

私は、県づくりを進めるにあたっては、単にコロナ前に戻すのではなく、安心・安全や経済のレベルをより高めていくとともに、コロナ禍で改めてその大切さを感じた、地域や人と人のつながりをより強固にすることなどに、未来志向で取り組み、本県の強みを活かし、潜在力を引き出して大きく伸ばしながら、山口ならではの豊かな未来を実現していくことが重要と考えています。

「やまぐち未来維新プラン」では、本県の活力の源である産業について、その強みを最大限に活かしていく「産業維新」、新たな人やモノの流れを創出・拡大し、県を活性化する「大交流維新」、誰もが豊かさと幸せを感じながら、いつまでも安心して暮らし続けられる基盤を築く「生活維新」の「3つの維新」を、「安心・安全」「デジタル」「グリーン」「ヒューマン」の「4つの視点」を踏まえ、さらに進化させていくこととしています。

今後、こうした方向性について、市町や関係団体、企業・大学等、そして県民の皆様と共有し、そのご理解の下に、県づくりの様々な取組にご参画いただけるよう、環境づくりにも積極的に取り組んでいきます。

私は、県民誰もが、山口ならではの豊かさと幸福を感じながら、未来に希望を持って暮らせる「安心で希望と活力に満ちた山口県」を実現してまいります。



令和4年（2022年）12月

山口県知事 村岡嗣政

目次CONTENTS

第1章 はじめに	1
1 策定の趣旨	2
2 性格と役割	2
3 計画期間	3
4 全体構成	3
第2章 山口県の現状を見る	5
1 これまでの取組の成果	6
2 本県の人口減少の現状	12
3 本県を取り巻く環境	18
4 本県の強みと潜在力 ～未来のデザイン～	24
第3章 県づくりの推進方向	49
1 県づくりの基本目標	50
2 目指すべき将来像	60
3 県政推進の基本姿勢	63
第4章 直面するコロナの危機の克服	65
1 山口県における感染者数の推移	66
2 体制の整備	67
3 主な対策と実績	67
4 今後の方針	71
第5章 重点的な施策の推進	75
【産業維新】	
① 新たな価値を創造する産業DXプロジェクト	82
② 未来へ挑戦するグリーン成長プロジェクト	94
③ 時代を勝ち抜く産業力強化プロジェクト	106
④ 中堅・中小企業の「底力」発揮プロジェクト	116
⑤ 強い農林水産業育成プロジェクト	130
【大交流維新】	
⑥ 交流拡大による活力創出プロジェクト	146
⑦ 新たな観光県やまぐち創造プロジェクト	154
⑧ 国内外での市場拡大プロジェクト	164
⑨ 新たな人の流れ創出・拡大プロジェクト	172
【生活維新】	
⑩ 結婚、妊娠・出産、子育て応援プロジェクト	184
⑪ 「やまぐち働き方改革」推進プロジェクト	196

⑫	次代につなげる持続可能な社会づくり推進プロジェクト	204
⑬	豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進プロジェクト	214
⑭	新たな時代の人づくり推進プロジェクト	226
⑮	誰もがいきいきと輝く地域社会実現プロジェクト	242
⑯	安心を支える医療と介護の充実・強化プロジェクト	256
⑰	生涯を通じた健康づくり推進プロジェクト	266
⑱	災害に強い県づくり推進プロジェクト	272
⑲	暮らしの安心・安全確保プロジェクト	280
⑳	人口減少を克服する地域づくり推進プロジェクト	294

第6章 持続可能な行財政基盤の確立 301

1	行財政構造改革の取組	302
2	現状と課題	302
3	今後の展開	303

第7章 施策の総合的な推進 305

I	産業維新	310
II	大交流維新	319
III	生活維新	324
①	暮らしの満足度の向上	324
②	人を育み、誰もが活躍できる社会の構築	331
③	安心・安全で、元気な地域の創出	335
IV	行財政基盤の強化	344

第8章 プランの着実な推進 347

1	プランの推進体制	348
2	プランの進行管理	348

資料編 351

1	成果指標一覧	352
2	維新プロジェクトとSDGsの関連表	360
3	維新プロジェクトと4つの視点の関連表	362
4	策定経過	363

第1章

～はじめに～

1 策定の趣旨

これまで、「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」（平成26年度～平成29年度）及び「やまぐち維新プラン」（平成30年度～令和4年度）に基づいて、県づくりの取組を進めてきました。

その結果、プランに掲げる成果指標の多くが目標以上に進捗するとともに、企業誘致の実現による雇用の創出や本県への移住者数の着実な増加など、目に見える多くの成果を得てきました。

しかしながら、県政の最重要課題である人口減少の克服は未だ道半ばであり、そうした中で、令和元年に発生し、今もなお続く新型コロナウイルスの感染拡大は、県民の命と健康を大きく脅かしているだけでなく、社会経済活動の低迷ももたらし、観光振興など、県づくりの取組の一部が足踏みを余儀なくされています。

また、国際情勢が目まぐるしく変化する中で、経済など安全保障の重要性が高まり、その確保が求められています。さらには、人類共通の課題である気候変動に対応するため、SDGsの理念も踏まえながら、社会経済全体の構造変革が必要となるなど、県政を取り巻く環境は大きく変化しています。

加えて、コロナ禍は、人々の意識や価値観、働き方に大きな変容を生じさせ、地方への関心を一層高めるなど、人の流れを大きく変えました。さらに、デジタル化の遅れが浮き彫りとなった今、地方においてこそ、デジタルの実装を通じて、新たな変革の波を起こすことが求められています。

こうした環境変化を踏まえ、まずは、コロナから県民の命と健康を守り抜き、地域経済と暮らしを再生させ、山口県の元気を取り戻さなければなりません。

そして同時に、人と人とのつながりや自然環境、文化など本県の魅力を活かして、山口ならではの豊かな暮らしの実現を図るなど、これまで取り組んできた「3つの維新」をさらに進化させ、新たな未来に向けた県づくりの取組を力強く前へ進めていきます。

地方が主役となる時代を迎えようとしている中、県づくりも次なるステージに進んでいかなければなりません。新たな総合計画となる「やまぐち未来維新プラン」を策定し、市町はもとより関係団体や企業・大学、県民の皆様とともに、県の総力を結集して、これまで以上に「安心で希望と活力に満ちた山口県」を実現します。

2 性格と役割

やまぐち未来維新プランは、新たな県政運営の指針として、今後、県が進める政策の基本的な方向をまとめた総合計画です。

また、本県が目指す県づくりの方向性を、市町、関係団体、企業・大学等、そして県民の皆様と共有し、共に取り組んでいくための指針となるものでもあります。

このプランに基づき、スピード感を持って施策を推進し、県民の皆様が安心して、そして、未来に希望を持って暮らせる活力に満ちた山口県の実現に取り組めます。

3 計画期間

2022年度～2026年度(5年間)

やまぐち未来維新プランでは、基本目標の実現に向け、2022年度から2026年度に進めるべき政策の基本的な方向を明らかにしています。

4 「やまぐち未来維新プラン」の全体構成

第1章 はじめに

- 策定の趣旨や性格と役割、計画期間について説明します。

第2章 山口県の現状を見る

- これまでの取組の成果、本県の人口減少の現状、本県を取り巻く環境、山口県の強みと潜在力について説明します。

第3章 県づくりの推進方向

- 県づくりの基本目標や目指すべき将来像、県政推進の基本姿勢などについて説明します。

第4章 直面するコロナの危機の克服

- コロナから命と健康を守り抜き、経済と暮らしを再生するための対策について説明します。

第5章 重点的な施策の推進

- 計画期間で重点的に推進する維新プロジェクトについて説明します。

3 つの維新

産業維新

大交流維新

生活維新

20 の維新プロジェクト

72 の重点施策

115 の成果指標

第6章 持続可能な行財政基盤の確立

- 効率的な行政運営や財政基盤の強化について説明します。

第7章 施策の総合的な推進

- 県政の各分野で進める施策を体系的に示します。

第8章 プランの着実な推進

- プランを着実に推進していくための進行管理の方策などについて説明します。

